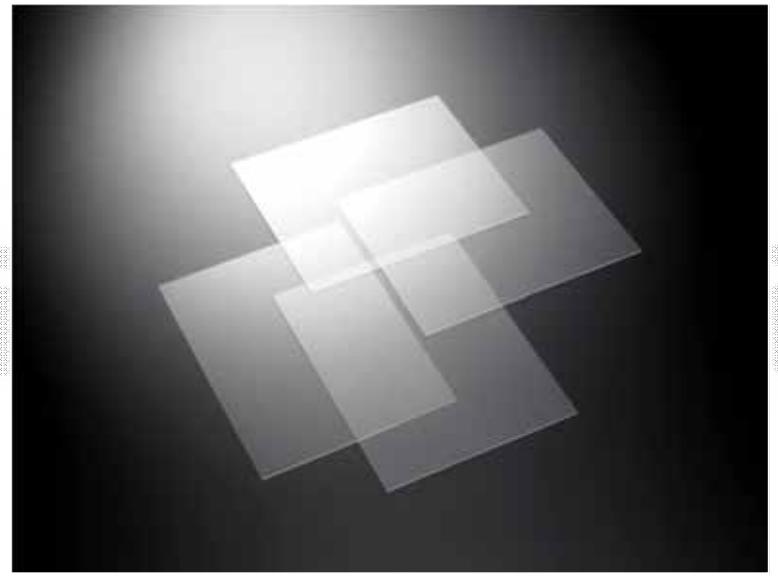
ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

# 2011年3月期 決算説明会

（2010年4月1日～2011年3月31日）



化学強化専用ガラス《CX-01™》

2011年4月28日

日本電気硝子株式会社

# 11／3期 連結決算のポイント

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

| | |
|---|---|
| 業 績 | ■ 四半期を追って下がりはしたものの、通期では最高業績更新<br>■ 2Q後半よりFPD市場が調整（この機に設備改修・薄板化対応工事）<br>■ 生産下振れ（冷修設備立上げ遅れ、ユーティリティトラブル、震災）<br>■ 営業利益率：30%（前期 30%） |
| 資 産 | ■ 総資産 461億円増<br>➢流動資産増（現金・預金）、固定資産増（FPDやガラスファイバ設備）<br>■ 設備投資 1,100億円　　減価償却費 526億円 |
| 財 務 | ■ 有利子負債：前期末比 △55億円<br>■ 自己資本比率：67%（前期末 62%） |
| キャッシュ・フロー | ■ フリーCF：＋365億円（前期 ＋318億円） |
| 配 当 | ■ 期末 7円、年間 13円（前期比 2円増配） |


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 連結損益計算書

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

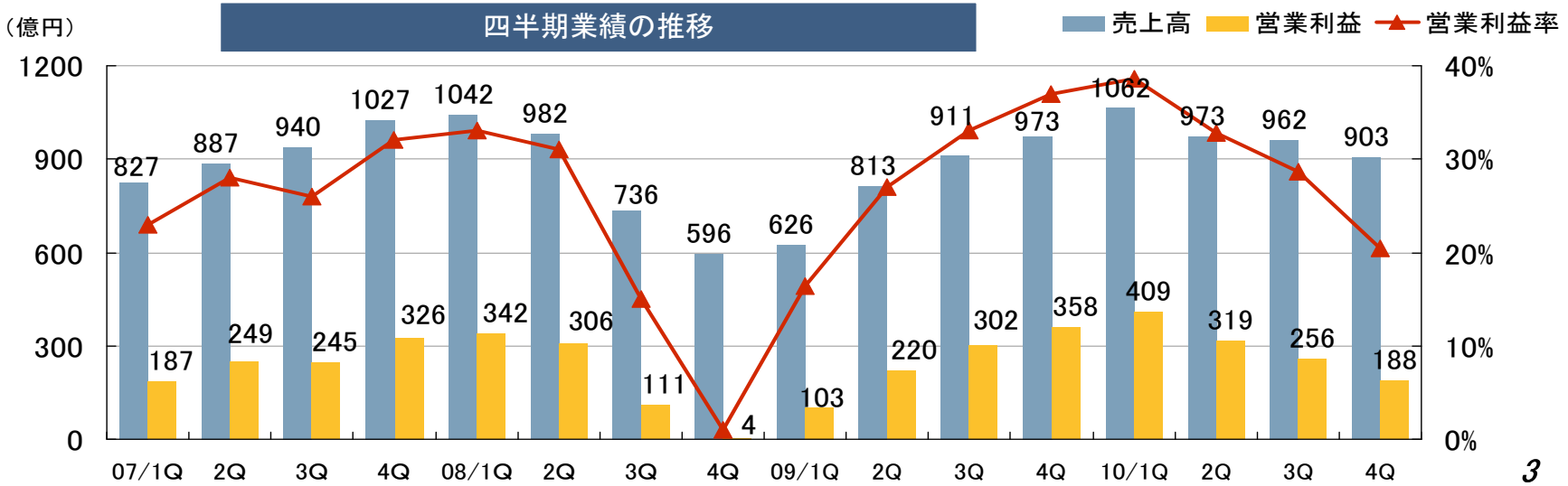
（単位：億円）

| | 10/3期 | 11/3期 | 増減(%) |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 3,323 | 3,901 | 17 |
| 営業利益 | 984 | 1,174 | 19 |
| 営業外損益 | △70 | △31 | |
| 経常利益 | 914 | 1,142 | 25 |
| 特別損益 | △48 | △24 | |
| 税前利益 | 865 | 1,118 | |
| 法人税等 | 313 | 423 | |
| 少数株主利益 | 2 | 8 | |
| 純利益 | 549 | 686 | 25 |
| 包括利益 | 585 | 675 | 15 |

## 通期では過去最高（四半期毎に減速）

| | |
|---|---|
| 1Q | FPDの販売増と生産拡大が貢献 |
| 2Q | FPD市場調整で販売減速、設備改修による稼動減・関係費用が利益圧迫 |
| 3Q | 需要持ち直しの動きも、設備改修や薄板化工事が利益下押し |
| 4Q | 冷修設備立上げ遅れ・ユーティリティトラブル・震災による生産下振れ、償却負担増 |

## 四半期業績の推移





Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 製品別の状況

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

| | | 10/3期 | 11/3期 | 増減（%） |
|---|---|---|---|---|
| ガラス事業 | 電子・情報 | 2,837 | 3,285 | 16 |
| | その他 | 486 | 616 | 27 |
| 合　計 | | 3,323 | 3,901 | 17 |

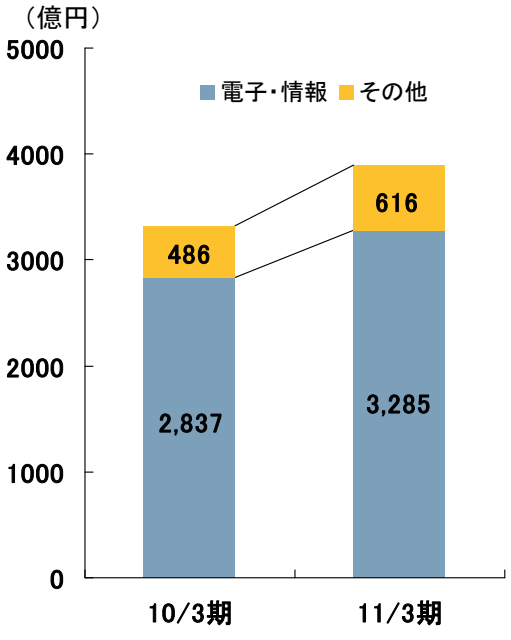
■ 電子・情報

| | |
|---|---|
| ディスプレイ | 1Q好調→2Q後半より減速<br>3Q持ち直しも、4Q再度減少 |
| 電子部品 | 2Q～3Qにかけ減速も、<br>4Qに入り回復に転じる |

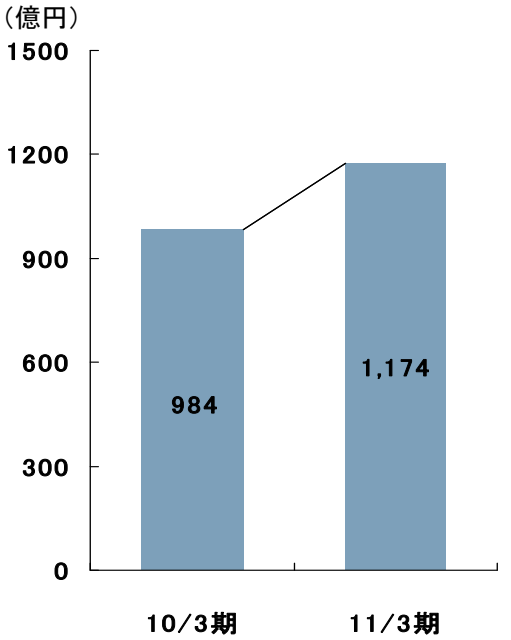
■ その他

| | |
|---|---|
| ガラスファイバ | 自動車向け中心に販売拡大<br>国内は3Q以降、需要軟化 |
| 建築・耐熱他 | 全体として販売低調 |

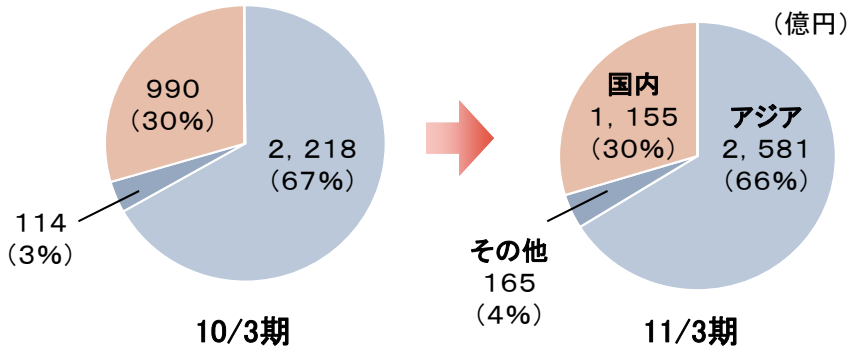
## 売上高




## 営業利益




## 海外売上高






Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 連結貸借対照表

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

（単位：億円）

| | 10/3末 | 11/3末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 流動資産 | 2,286 | 2,389 | 102 |
| 現金・預金 | 980 | 1,188 | 207 |
| 受取手形・売掛金 | 800 | 643 | △156 |
| たな卸資産 | 369 | 453 | 84 |
| その他 | 135 | 103 | △32 |
| | | | |
| 固定資産 | 4,178 | 4,537 | 358 |
| 有形固定資産 | 3,851 | 4,174 | 322 |
| 無形固定資産 | 7 | 13 | 6 |
| 投資その他 | 319 | 349 | 30 |
| 合計 | 6,464 | 6,926 | 461 |

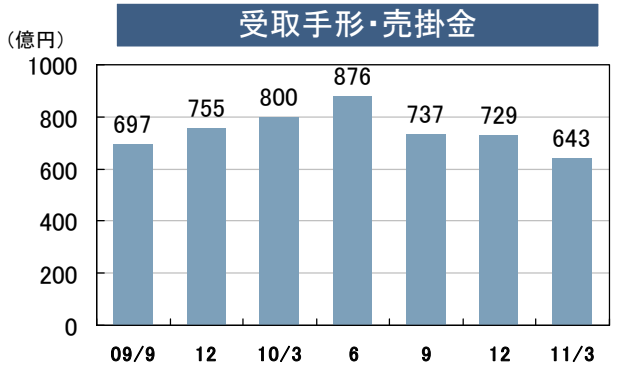
| | 10/3末 | 11/3末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 負債 | 2,401 | 2,245 | △155 |
| 支払手形・買掛金 | 379 | 427 | 48 |
| 借入金 | 998 | 942 | △55 |
| 未払法人税等 | 341 | 154 | △186 |
| 特別修繕引当金 | 268 | 297 | 28 |
| その他 | 413 | 423 | 9 |
| 純資産 | 4,063 | 4,680 | 617 |
| 株主資本 | 4,063 | 4,696 | 633 |
| その他包括利益累計 | △39 | △59 | △19 |
| 少数株主持分 | 39 | 43 | 3 |
| 合計 | 6,464 | 6,926 | 461 |

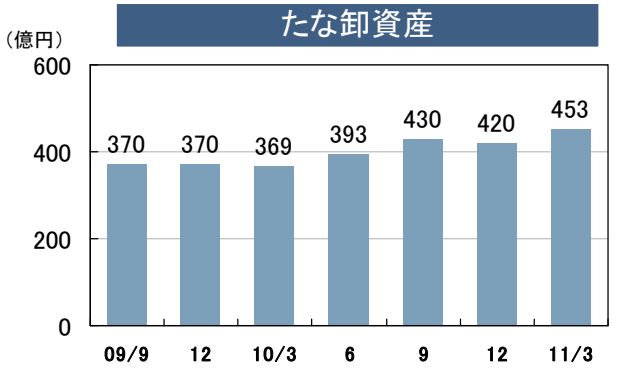
■流動資産
- ➢現金・預金　：収入増
- ➢受取手形・売掛金：販売減速
- ➢たな卸資産　：販売減速

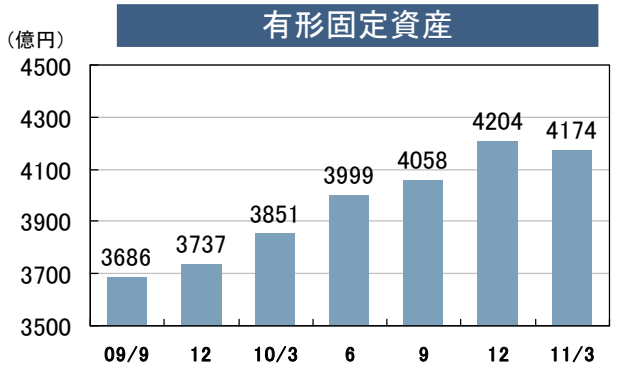
■固定資産
- ➢有形固定資産　：設備増
- ➢投資その他　：投資有価証券増

■負債
- ➢借入金　：長期借入金減

■純資産
- ➢株主資本　：利益剰余金増






Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

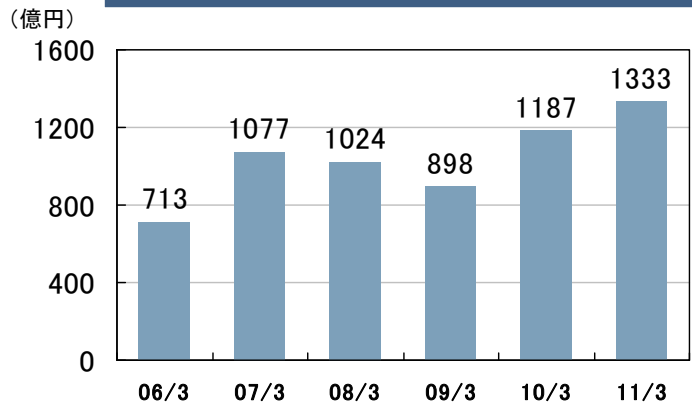
# 連結キャッシュフロー計算書



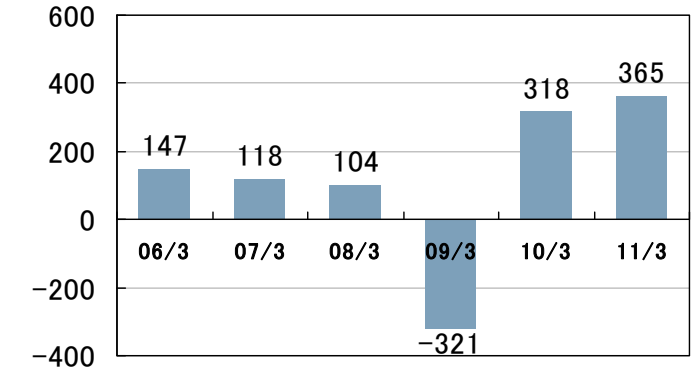
（単位：億円）

| | 10/3期 | 11/3期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュフロー | 1,187 | 1,333 | 146 |
| 税前利益 | 865 | 1,118 | |
| 減価償却費 | 481 | 526 | |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △322 | 150 | |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 56 | △86 | |
| 仕入債務の増加額 | 55 | 60 | |
| 法人税等の支払額 | △88 | △540 | |
| その他 | 139 | 104 | |
| 投資活動によるキャッシュフロー | △868 | △968 | △99 |
| 固定資産の取得による支出 | △839 | △956 | |
| その他 | △28 | △11 | |
| 財務活動によるキャッシュフロー | △351 | △117 | 233 |
| 長短借入金の増減額（△は減少） | △301 | △55 | |
| 配当金の支払額 | △49 | △59 | |
| その他 | △0 | △2 | |
| 現金等に係る換算差額 | 3 | △0 | |
| 現金等の増減額（△は減少） | △29 | 246 | 276 |
| 現金等の期首残高 | 946 | 916 | |
| 現金等の期末残高 | 916 | 1,163 | 246 |

営業CF推移



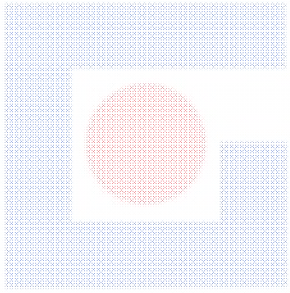

フリーCF推移





Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 対処すべき課題と次期の見通し



Nippon Electric Glass


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 将来を見据えた取り組み

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

事業展開： 足下 → 中長期

## 既存分野

### キャッシュ創出 安定した経営基盤

| | | | |
|---|---|---|---|
| ディスプレイ | 液晶<br>PDP | 電子部品 | イメージデバイス<br>光関連 |
| ｶﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞ | 自動車<br>部品 | 耐熱・建築 | 住設、内外装<br>防火設備 |

取り組み：
- 「ディスプレイを強く、ノンディスプレイを大きく」
- 市場の動向・ニーズに即応（生産体制、開発）
- 競争力（生産性・コスト・技術・品質）を維持・強化

＋

## 成長期待分野

### ポスト液晶育成 持続的成長

| | | | |
|---|---|---|---|
| 次世代<br>ディスプレイ | カバーG<br>有機EL<br>ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ | エネルギー | ソーラー<br>二次電池 |
| 新照明 | LED<br>LD<br>有機EL | 医療 | 薬事用材料<br>放射線遮蔽 |

取り組み：
- R&Dを積極推進
- 市場への訴求
- ディスプレイへのこだわり

**複合化技術（結晶化・成膜・貼り合せ・・・）**

ガラスの基盤技術： 材料設計 ＋ プロセス（溶融＋成形＋加工） ＋ 評 価



Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 既存分野 ー ディスプレイを「強く」、ノンディスプレイを「大きく」

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

## ディスプレイ用ガラス

- 市場動向にそった生産
- 薄板化を推進、設備当りの生産量引き上げ
- 基板ガラスの高品位化に積極対応

*3DTV対応液晶基板ガラス*

## ガラスファイバ

- 需要堅調、持続的成長を期待
- マレーシア新設備の立ち上げ順調
- 市場動向に応じ、今後も生産能力を拡充

*自動車向けチョップドストランド*

## 電子部品用ガラス

- 競争力強化(コスト・品質)
- 先端分野向け製品開発

*光関連ガラス*

## 耐熱・建築用ガラス

- 拡販、海外市場開拓
- 機能・特性を活かした製品・用途開発

*ファイアライト施工例*

## 大震災の影響

- 従業員や設備への被害なし
- 資材調達面での影響はほぼ解消（調達ルート分散・多様化）
- 原発問題〔放射線風評被害や電力規制（藤沢事業場）〕—長期化を懸念
  風評被害—トレーサビリティ強化、輸出先への的確な情報提供
  電力規制—自家発電などバックアップ強化、生産の分散化



Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 成長期待分野 ― R&Dの積極推進、開発品の市場投入

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

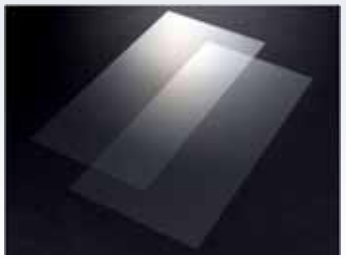
## 次世代ディスプレイ

- 化学強化専用ガラス量産開始、カバーガラスに本格参入
- 有機ELの本格的成長に対応
- 超薄板ガラスの可能性を追求

化学強化専用ガラス《CX－01》

## エネルギー

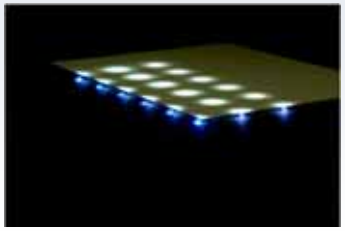
- 太陽電池用基板ガラスに本格参入（PDPやカバーガラスと合わせ、フロート設備を活用）
- 薄膜との複合で機能性を訴求する製品開発
- 二次電池関連の開発推進



太陽電池用基板ガラス《SS－8》

## 新　照　明

- 有機EL照明への超薄板ガラスの展開に期待
- 高輝度LEDやLD向け蛍光体材料の開発を推進



高輝度LED照明用蛍光体ガラス

## 医　　療

- 海外市場（欧米、新興国）を積極開拓
- マレーシアに医療用管ガラス設備を新設
- PETやマンモグラフィ向け放射線遮蔽ガラス拡販

PET用ガンマ線遮蔽ガラス



Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

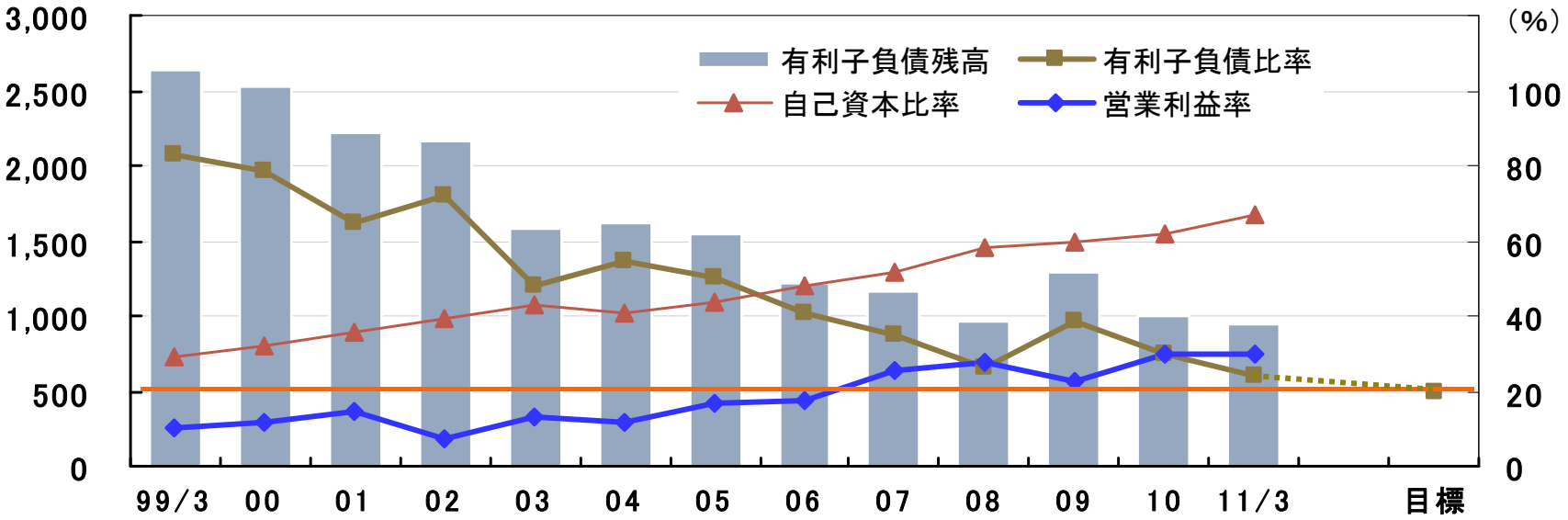
# 財務体質の強化



## 財務の基本方針

- 経営全般の効率化追求、キャッシュフロー重視
- タイムリーな設備投資
- 今後の資金需要を勘案しつつ、有利子負債削減を推進

### 有利子負債の推移




| | | |
|---|---|---|
| 11／3の状況 | 有利子負債比率 | 24%（10/3末 30%） |
| | 自己資本比率 | 67%（〃 62%） |
| | 営業利益率 | 30%（〃 30%） |

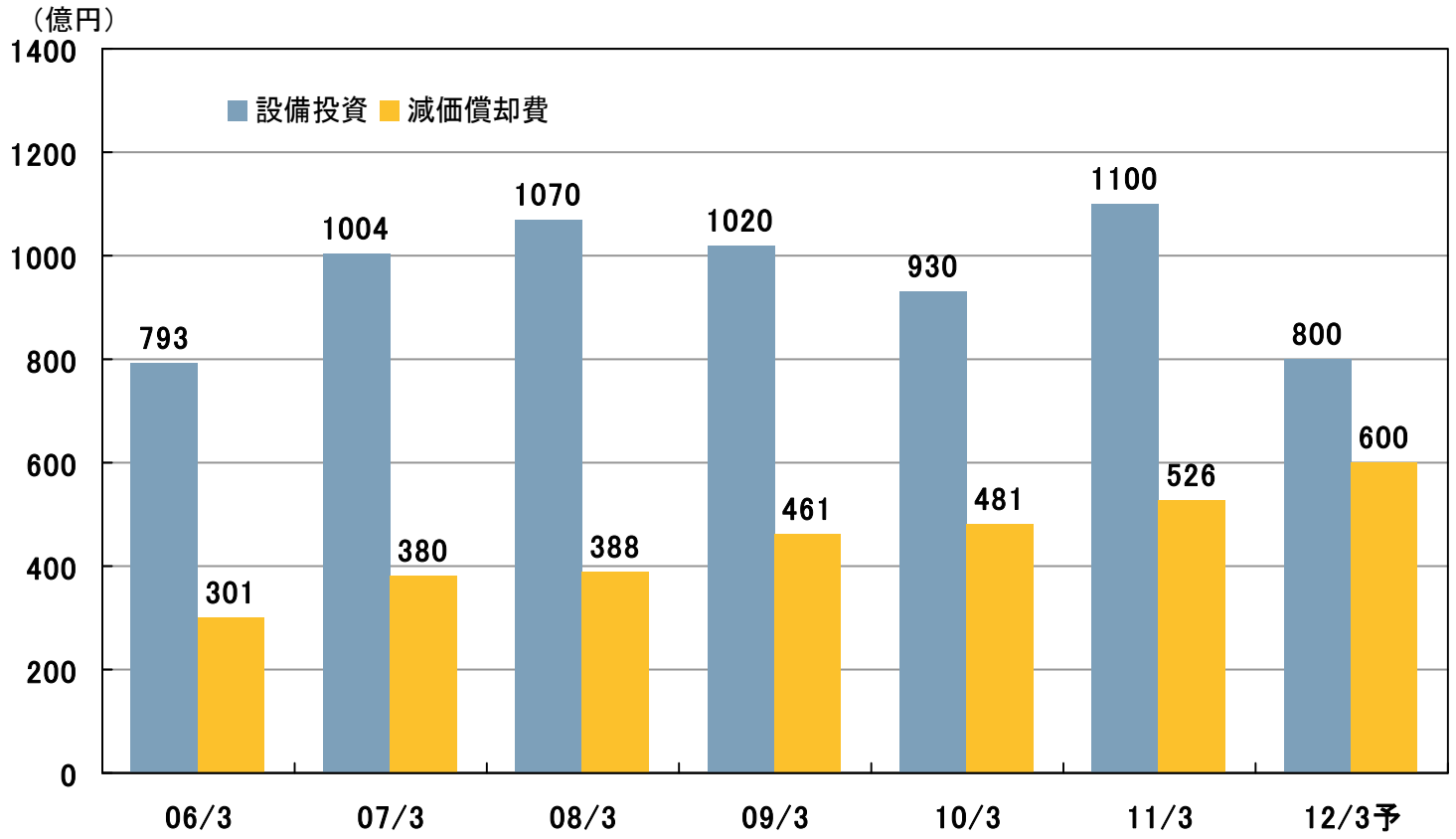


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 設備投資・減価償却の見通し

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

## 設備投資・減価償却費




| | |
|---|---|
| 設備投資 | 得意先の需要動向に対応・成長期待分野に重点投資<br>（薄板化対応・能力拡充・生産性改善）、リスク分散 |
| 減価償却費 | 年間600億円程度を見込む |


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

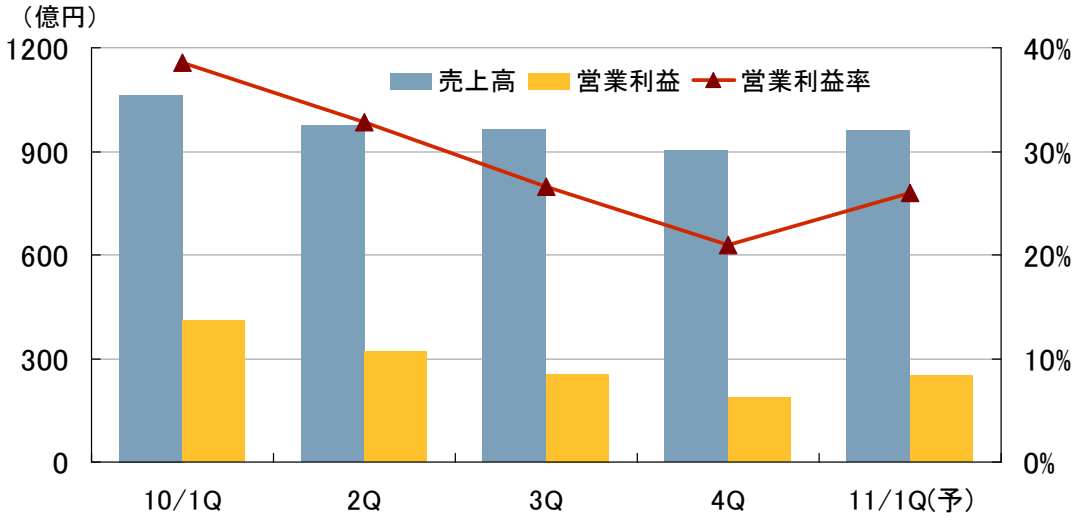
# 連結業績予想

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

（単位：億円）

| | 11／3期 | | | | 12／3期 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q（予想） |
| 売上高 | 1,062 | 973 | 962 | 903 | 910～1,010 |
| 営業利益 | 409 | 319 | 256 | 188 | 225～275 |
| 経常利益 | 406 | 307 | 249 | 179 | 215～265 |
| 純利益 | 247 | 177 | 158 | 101 | 135～165 |

## 業績推移




11/1Q（予）：予想レンジのセンター値を記載

**国内外の情勢変化激しく、**
**半年～1年先の予想困難**

**四半期ベース＋レンジ方式で開示**

## 1Q予想のポイント

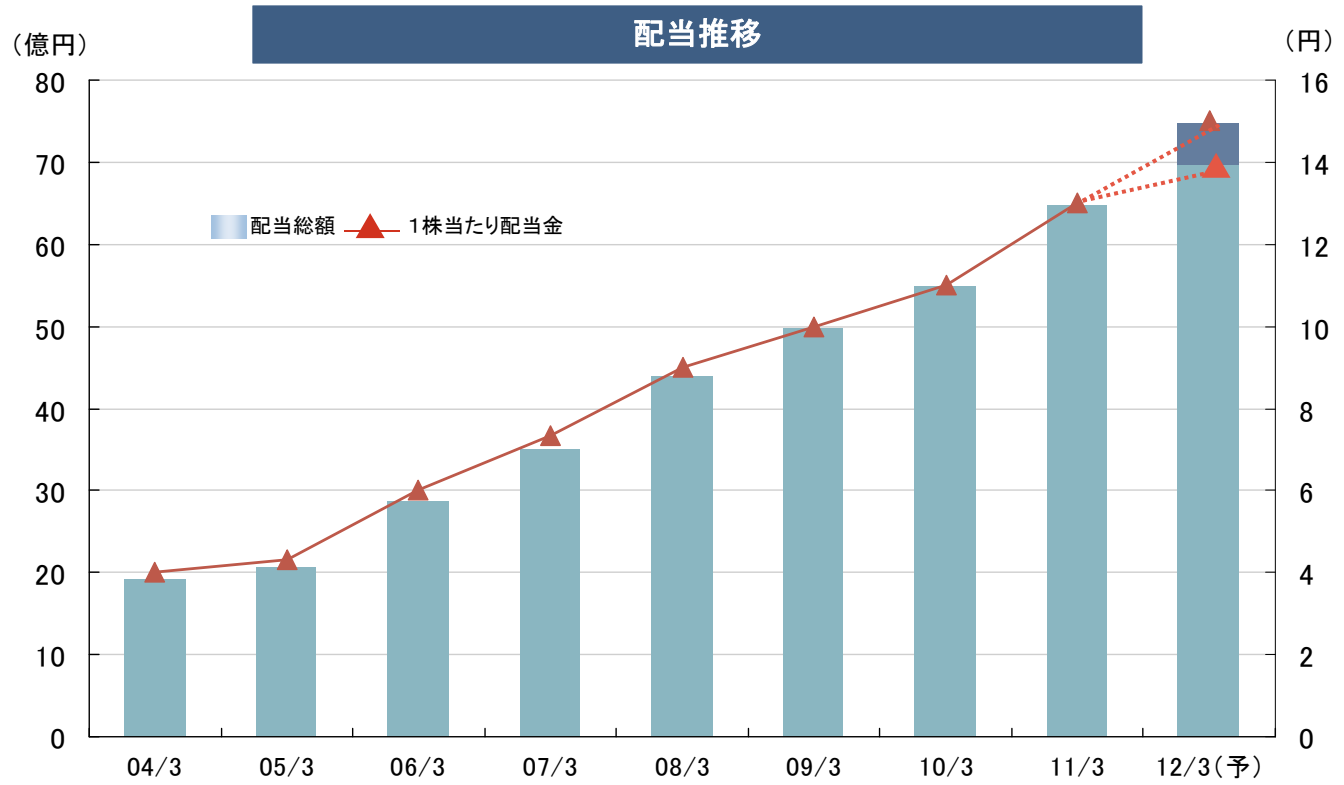
- FPD・・・4Q底に緩やかな回復を見込む
  薄板化への対応継続
- ガラスファイバ・・・海外市場中心に堅調
- 住宅・建築関連・・・停滞状況続く
- 費用面・・・原燃料・電力コスト上昇懸念
- 震災影響・・・合理的に想定される範囲
  織り込んだが、変動の可能性も


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# 配当について

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

| | |
|---|---|
| 利益配分の基本方針 | ■ 内部留保（企業体質強化、将来への備え）＋長期安定の利益還元<br>■ 成長投資への資金需要 ⇔ 財務状況等を踏まえつつ利益還元進める |
| 2012年3月期配当予想 | ■ 中間配当 7円／株、期末配当7～8円／株 （8期連続増配へ） |




（注）各期を比較しやすいよう株式分割による影響を遡及して調整の上記載


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# (参考)当社の基幹技術を応用し、新たなプロダクツを創出

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

例えば:

□・・・薄膜を付加し、製品を高機能・高付加価値化

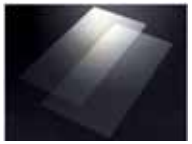
## 成形技術

### オーバーフロー技術

- 液晶基板
  - 太陽光反射ミラー
  - …
- 超薄板
  - 有機EL
  - リチウムイオン二次電池
  - …

### フロート技術

- PDP基板
  - 太陽電池基板
  - カバーガラス
  - 蛍光表示管
  - …



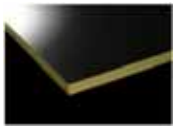
## 複合化技術

### 結晶化ガラス技術

- 調理器トッププレート
- ディスプレイデバイス
- LED・LD用蛍光体ｶﾞﾗｽ
- 防火設備用ガラス
- …

### 貼り合せ技術

- 超薄板ｶﾞﾗｽ・樹脂積層体
- LTS(薄板ガラス積層)
- FLプラス
- LXプレミアム
- …



Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

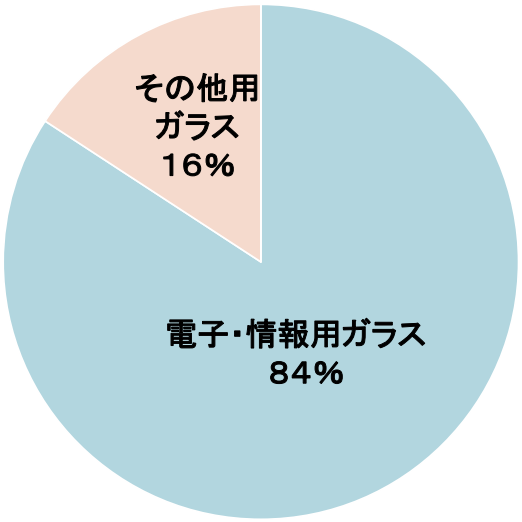
# (参考)日本電気硝子の概要

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

| | |
|---|---|
| 社名 | 日本電気硝子株式会社 |
| 本社 | 大津市 |
| 創立 | 1949年 |
| 資本金 | 321億円 |

| | |
|---|---|
| 事業内容 | 特殊ガラス製品およびガラス製造機械の製造・販売 |
| 事業場 | 大津／藤沢／滋賀高月／能登川／若狭上中／<br>精密ガラス加工センター |
| 連結子会社 | 20社 |

## 売上構成（11／3期）



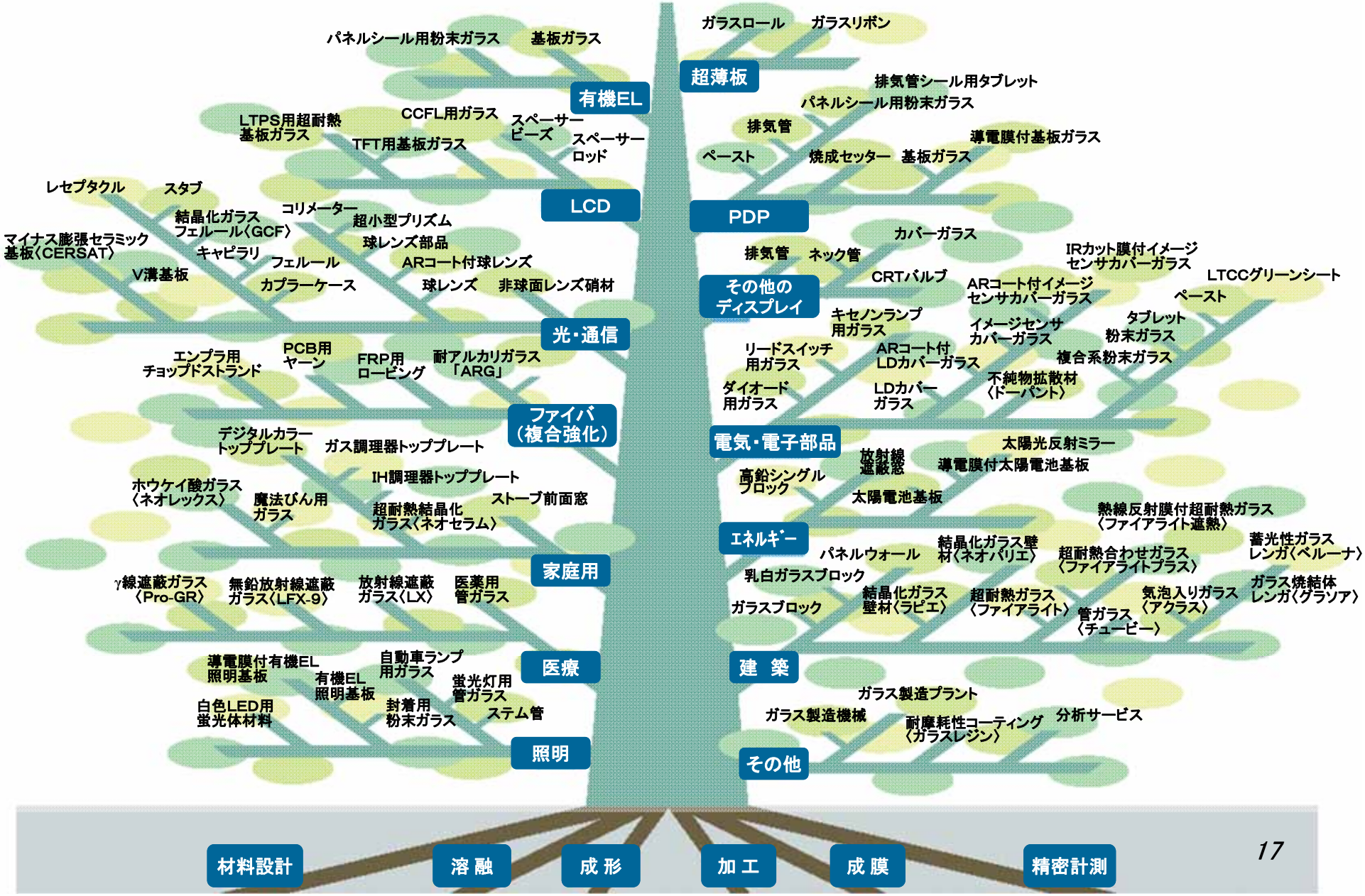

## 主要な事業内容

| | | |
|---|---|---|
| 電子・情報用ガラス | FPD | LCD：基板ガラス、ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ用ｶﾞﾗｽ<br>PDP：基板ガラス、ガラスペースト |
| | その他 | ブラウン管用ガラス |
| | 光関連 | 光ファイバ接続用ｷｬﾋﾟﾗﾘ/ﾌｪﾙｰﾙ<br>球ﾚﾝｽﾞ/ﾚﾝｽﾞ部品／非球面ﾚﾝｽﾞ硝材 |
| | 電 子ﾃﾞﾊﾞｲｽ用 | 粉末ガラス<br>板ガラス<br>管ガラス |
| その他用ガラス | ガラスファイバ | 機能樹脂用チョップドストランド<br>プリント配線基板用ヤーン<br>強化ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ用ﾛｰﾋﾞﾝｸﾞ<br>耐アルカリ性ガラスファイバ |
| | 建築用 | ガラスブロック<br>結晶化ｶﾞﾗｽ建材<ﾈｵﾊﾟﾘｴ>・<ﾗﾋﾟｴ><br>防火設備用ガラス<ファイアライト><br>放射線遮へい用ガラス<br>ｲﾝﾃﾘｱ/ｴｸｽﾃﾘｱ用ガラス |
| | 耐熱用 | 超耐熱結晶化ガラス＜ネオセラム＞<br>耐熱ガラス＜ネオレックス＞ |
| | その他 | 照明用ガラス<br>医薬・理化学用ガラス<br>魔法びん用ガラス<br>ガラス製造機械 |


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

# (参考)未来へ向かう日本電気硝子の「ガラスの樹」

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子



# 予想に関する留意事項

◆ 本資料に記載されている業績見通しは、
当社が現時点で合理的と判断する一定の
前提に基づいて作成されたものであり、
リスクや不確定要素を含んだものです。

◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素
により、これら業績見通しと大きく異なる
結果となりうることをご承知おき下さい。


Copyrights©2011 Nippon Electric Glass Co., Ltd.